

畑地かんがいを活かした、安心・安全の「えらぶのばれいしょ」栽培

～鹿児島県大島郡和泊町 (株)皆村農園～

経営体の概要

法人化前：平成20年
基幹作物：ばれいしょ単作
経営面積：8.0ha



現在：令和7年
基幹作物：ばれいしょ単作
経営面積：40.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

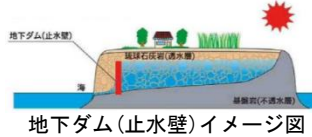
【事業実施前】

●二級河川があるものの、安定した水源ではなく、また島内に100箇所以上ある農業用ため池も降雨等に依存しているため、干ばつ時には用水が不足。また濁り等によりフィルターが詰まり、清掃に手間を要していた。



【現在】

●地下ダムによる安定した水源の確保により、安定した営農、品質の向上や農作業の省力化などが図られた。
●あわせて、他産地と競合しない時期の出荷や販売が可能となり、収益の向上に寄与。



地下ダム(止水壁)イメージ図



揚水機場

営農改善、経営転換等のポイント

①栽培技術の確立・向上

平成26年に給水栓が整備され、地下ダムからの通水が開始されたことで、他産地と出荷時期が競合しないように調整しつつ、畑地かんがい施設が整備されたほ場を優先的に作付けするなど、計画的なばれいしょ栽培技術を確立している。また、風による作物の枝折れ、葉の損傷や倒伏による生育障害を回避するため、防風ネットを設置するなど栽培技術の確立に取り組んでいる。



②単収・品質の向上

連作障害の回避のため、夏場にひまわり(地力作物)の作付けを行うことやほ場ごとに毎年土壌診断を行い、肥料の種類を見直すなど、土壌改良を実施したことにより、規格外品の発生が着実に減少している。なお、ひまわりにもかん水することで成長も良く、観光客の写真スポットにもなっている。



また、平成26年にはグローバルギャップ(GLOBALG.A.P.)を取得し、安全・安心なばれいしょの生産体制を強化している。

③省力化

自動操舵機能付きトラクターを導入し、植え付け作業は1時間当たり80aと従来と比べて約1.5倍に向上。ドローンを2台稼働させ、防除作業を行うことで人件費を削減し、作付面積を拡大。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：鹿児島県和泊町、知名町
受益面積：1,497ha
事業期間：平成19年度～令和7年度
事業目的：畑地かんがい
主要工事：地下ダム：1箇所、揚水機場：1箇所、
用水路：L=44.1km、吐水槽：1箇所、
ファームポンド：2箇所

位置図



沖永良部地区

<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係 等
電話：096-300-6498

(令和7年度調査時点)